

# 麦の学校

～宇佐市は県内一の麦の産地～



宇佐市民図書館（大分県宇佐市） <http://www.usa-public-library.jp/>

## 基本データ（数値はH25年現在）

住所	宇佐市大字上田1017-1
電話番号	0978-33-4600
人口（図書館が所在する市町村）	5.8万人
職員数（うち有資格者数）	22人（18人）
蔵書数	243,015冊
登録者数	37,507人
年間貸出冊数（H24）	336,972冊

## 目的・趣旨

宇佐市は麦作りが盛んであることや様々な麦製品が生まれていることについて子供たちに知ってもらい、地域の文化や産業、景観保全、食育に資する。

麦やパンなどの麦製品に関連する本（絵本や物語を含む）を紹介することで、本の楽しさと共に、麦作の歴史を知り、麦に親近感をもってもらおう。

## 取組概要

2009年3月～5月まで宇佐市民図書館で開催した企画展「宇佐七麦の世界展」では、宇佐市のプロジェクトチームが図書館の資料や統計データを使い、宇佐市で7種類の麦が作られていること、出荷量日本一である麦焼酎をはじめ様々な産品が生まれている事を紹介した。小学校で麦作りはあまり学習していなかったため、企画展をきっかけに、市（農政課）と地元酒造メーカーなどが協力し、子供たちが麦作りや、麦踏み体験し、スケッチや、収穫を実施し、小麦粉からピザなどを作りそして食べる「麦の学校」に取り組むことになった。副読本である「宇佐七麦物語」冊子作りや、「麦の学校」のブックトークは図書館が協力している。



企画展の様子

## 特徴

1. 図書館資料を使った企画展などがきっかけであること。
2. 小学校と市（農政課）と地元酒造メーカーと図書館が協力して実施した事業であるということ。
3. 農業指導や工場見学、小麦粉を使った調理などに、地域の人たちが関わっているということ。
4. あかね書房の協力を得て、お菓子作りを主題にして子供たちに人気がある「わかったさん」シリーズ（寺村輝夫作永井郁子絵）のわかったさんを案内役にした冊子を作り、副読本として全児童生徒に配布した（平成22年度）。



## 取組の成果と今後について

子供たちの麦踏みや調理などの活動はTVや新聞に取り上げられている。

子供たちのスケッチや取り組みを紹介する展示を図書館で行うことで、市民にも関心を持ってもらうことに役立っている。

ブックトークは、子供たちに麦作りや麦への関心を持たせることにつながり、好評で、現在も続いている。